



認証番号 0005412

エコアクション21

環境経営レポート

2022年度

期間2022年11月～2023年10月の実績報告

2024年4月1日発行



きれいな環境づくりのお手伝いをします

大分環境プ라이어株式会社

目 次

	(ページ)
1. 環境経営方針	1
2. SDGs宣言	2
3. 事業概要	3～9
許可の内容	
施設・設備等の状況	
処理実績	
推進組織図	
廃棄物処分実績	
処理先フロー	
リサイクル処理の流れ	
本年度の主要な環境経営計画内容と次年度の環境経営計画	
4. 環境経営目標と取組結果	10～13
環境経営目標と取組み結果	
環境活動の取組み事例集	
環境教育の様子 取組み結果	
5. 環境関連法規の遵守結果及び違反・訴訟等の有無	14
6. 代表者による見直しの評価と指示	14

大分環境プ라이어有限公司 環境経営方針

環境理念

私たちは、地球や地域の環境に配慮した環境経営に取り組んでいく事が環境の業に携わる業者としての責務と考え、社員全員がこの環境方針を周知し、廃棄物の適正処理をはじめ、省資源、省エネルギー、地域環境保全などの活動を通じて、環境コミュニケーションによる人間成長、地球環境にやさしい事業者を目指す事をここに誓約致します。

行動指針

当社は、廃棄物の収集運搬及び中間処理の業務を通じ、環境理念に基づき、社員ひとりひとりが「**きれいな環境づくりのお手伝い**」の精神で環境に配慮した社会のお役に立てられる以下の活動を継続的に取り組みます。

- 1 企業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、 SDGs 達成に向けて貢献して行きます。
- 2 事業活動における各種環境関連法規を遵守します。
- 3 社員一人一人が使用量削減に向けて、燃料管理・PDCAを積極的に実践します。
- 4 廃棄物削減の為に分別リサイクルと自社でのマテリアルリサイクル処理。
- 5 事務所、処理施設における電気使用量の削減に努めます。
- 6 上水道、地下水資源の節水の取組みと作業場における雨水の有効活用。
- 7 事業所周辺における地域環境保全活動を当社の重点活動として取組み、地域社会の環境美化の貢献とコミュニケーション推進。
- 8 環境にやさしい物品のグリーン購入の推進。
- 9 当社の環境への取組みをまとめた「環境経営レポート」をより多くの方々へ知っていただく為にホームページをはじめ、日々の事業活動で広く公開して行きます。
- 10 環境経営における活動を通して、更なる「会社」と「人」の質の向上に努めます。

2009年 8月 1日制定
2010年 11月 1日改定
2011年 11月 1日改定
2013年 11月 1日改定
2016年 11月 1日改定
2019年 11月 1日改定
2023年 11月 1日改定

大分県大分市大字大分5001番地

大分環境プ라이어有限公司

代表取締役 後 藤 雅 彦



大分環境プライヤー有限会社



SDGs 宣言

2022年4月1日

大分環境プライヤー有限会社

代表取締役 後藤 雅彦

SDGs 達成に向けての当社の取り組み

弊社は、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、環境の業に携わる企業として、持続可能なよりよい未来を築くことを目標に、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、少しでも改善の方向へ進められる取り組み・行動を事業活動の中で推進してまいります。

1. 廃棄物の適正処理とリサイクル

- ・ 廃棄物の適正な分別と、適正処理
- ・ 廃棄物をできるかぎりリサイクル処理をし、資源へ



SDGsとは

SDGs：持続可能な開発目標は、「誰一人残さない」

持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいてすべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

2. 環境負荷の削減への取り組み

- ・ 一番負荷の大きい燃料使用量削減への取り組み
- ・ 電気使用量の削減の取り組み
- ・ 水使用量削減の取り組み
- ・ 環境にやさしいグリーン購入の推進
- ・ エコ活動 廃棄物を出さない取り組み



3. 地域社会貢献活動

- ・ 近隣地域の美化活動（掃除・ごみ拾い・不法投棄を除去）
- ・ 草刈り美化活動
- ・ 地域の力、助けとなる活動・サポート



4. 「会社」の成長と「人」の成長

- ・ 安全衛生の取り組み
- ・ 業務に必要な教育の実施
- ・ 働きやすい職場環境づくりの推進
- ・ お客様、社会に貢献できる、お役に立てられる、喜ばれるお仕事を



3. 事業概要

- 1) 事業者名及び代表者 大分環境プ라이어有限公司
代表取締役 後藤 雅彦
- 2) 法人設立年月 1993年 11月 1日
- 3) 所在地 〒870-0843
(本社) 大分県大分市大字大分5001番地

- 4) 環境管理責任及び事務局 賀来事業所

- 5) 連絡先 連絡担当者 賀来事業所
TEL : 097-544-0053
097-549-1300
FAX : 097-549-1310
E-mail : pliers@apricot.ocn.ne.jp
ホームページ : <https://www.oita-k-plier.com/>



↑
ホームページを
ご覧になれます

- 6) 事業内容 本社 大分市大字大分5001番地
経理・総務
- 賀来事業所 大分市大字賀来中尾9-1
一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物の中間処理
(選別施設・圧縮施設・圧縮梱包施設)
- 津守事業所 大分市大字津守字礫場
一般廃棄物 民間委託業務
産業廃棄物 中間処理
(破碎施設)
- 元町事業所 大分市大字大分5001番地
一般廃棄物 民間委託業務

- 7) 事業規模 資本金 5百万円
従業員 33名 (2022年度)
売上高 138百万円 (2022年度)
床面積 49.22㎡ (賀来) 10.4625㎡ (津守)
220㎡ (本社) 16.25㎡ (元町)
敷地面積 1,272㎡ (賀来) 642㎡ (津守)
919㎡ (本社・元町)

※エコアクション21対象範囲 全組織・全事業所

8) 事業年度

11月～翌10月

9) 優良性判断に係る情報公開

ア) 許可の内容

事業系区分	許可区域	年月日		許可項目	許可番号
一般廃棄物 収集運搬業 (事業系ごみ)	大分市	許可年月日	2023・4・1	事業系ごみ	5016
		有効年月日	2025・3・31		
		許可年月日	2023・4・1	特定家庭用 機器廃棄物	5016
		有効年月日	2025・3・31		
	由布市	許可年月日	2023・4・1	事業系ごみ	401001
		有効年月日	2025・3・31		
産業廃棄物 収集運搬業	大分県	許可年月日	2024・1・12	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・紙くず・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラス・陶磁器くず・がれき類	04402013129
		有効年月日	2029・1・11		
	大分市	許可年月日	2024・1・19	燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず及び陶磁器くず・がれき類・紙くず	08810013129
		有効年月日	2029・1・11		
積替保管施設	大分市	許可年月日	2024・1・19	木くず・紙くず・廃プラスチック類・繊維くず・金属くず・がれき類・ガラス・陶磁器くず	08820013129
		有効年月日	2029・1・11		
産業廃棄物 処分業 (選別) (圧縮) (破碎) (圧縮梱包)	大分市	許可年月日	2021・11・2	廃プラスチック類・金属くず・ガラス及び陶磁器くず	08820013129
		有効年月日	2026・10・25		

イ) 施設・設備等の状況

・ 運搬車両の種類と台数 (2021年度)

許可車両	車 種	台数
運搬車両 合計21台	4 t 脱着装置付コンテナ車	1台
	3 t ユニックダンプ車	1台
	4 t 深ダンプ車	1台
	4 t 塵芥車 (回転式)	1台
	4 t 塵芥車 (プレス式)	2台
	3 t 塵芥車 (回転式)	12台
	4 t バキューム車	1台
	トラック (キャブオーバー)	1台
	軽トラック	1台
その他車両	バックフォー	1台
	軽自動車 (営業車)	1台
	普通自動車 (営業車)	1台

・ 積替保管施設の面積と保管上限量

所在地 大分県大分市大字賀来中尾9番1

面積 70.33㎡

容積 76.69㎡

産業廃棄物の種類 木くず、紙くず、金属くず、廃プラスチック類、繊維くず、がれき類、ガラスくず及び陶磁器くず
(以上7種類。ただし、石綿含有産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まず、水銀使用製品産業廃棄物を含む。特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

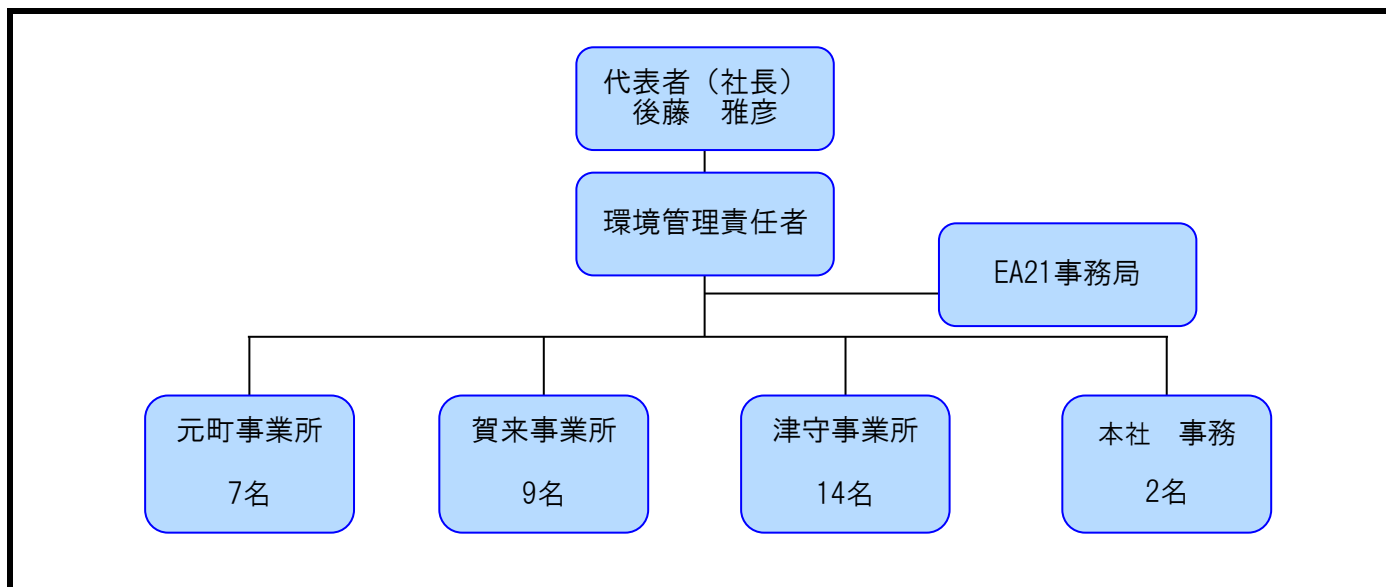
・ 処分施設の種類

施設の 種類	設置場所	設置年月日	処理能力	廃棄物の種類	処理方式
選別施設	賀来事業所	2006・9・4	3.38 t / 日 (8H / 日)	・ 廃プラスチック類 ・ 金属くず ・ ガラスくず及び 陶磁器くず	選別
圧縮施設	賀来事業所	2006・9・4	2.08 t / 日 (8H / 日)	・ 廃プラスチック類 ・ 金属くず ・ ガラスくず及び 陶磁器くず	圧縮
破碎施設	津守事業所	2007・1・25	2.4 t / 日 (8H / 日)	・ 廃プラスチック類 ・ ガラスくず及び 陶磁器くず	破碎
圧縮梱包 施設	賀来事業所	2016・3・24	3.96 t / 日 (8H / 日)	・ 廃プラスチック類 ・ 金属くず	圧縮梱包

ウ) 処理実績

・ 廃棄物処分実績参照 (6ページ)

エ) 推進組織図



廃棄物処分実績

産業廃棄物

処分方法等	廃棄物等種類	処分方法	処理量（t）
収集運搬	汚泥		71. 17
	廃プラスチック類		371. 18
	紙くず		0. 12
	木くず		61. 91
	金属くず		247. 71
	ガラスくず及び陶磁器くず		29. 89
	がれき類		54. 56
	廃電池		0. 05
	水銀使用製品		8. 43
	混合廃棄物		15. 05
収集運搬量合計			860. 07
中間処理	廃プラスチック類	選別	27. 22
	金属くず	選別・圧縮	31. 95
	ガラスくず及び陶磁器くず	選別	2. 38
中間処理小計			61. 55
内資源化	廃プラスチック類	選別・破碎後圧縮固化	14. 28
	廃プラスチック類	選別後原料として再利用	9. 38
	金属くず	選別・破碎原料化	21. 92
	金属くず	選別・圧縮後原料化	10. 03
	ガラスくず及び陶磁器くず	破碎・再生	0. 73
再資源化等量小計			56. 34
中間処理後の 産業廃棄物	廃プラスチック類	埋立（委託）	3. 56
	ガラスくず及び陶磁器くず	埋立（委託）	1. 65
最終処分量合計			5. 21

一般廃棄物

処分方法等	廃棄物等種類	処分方法	処理量 (t)
収集運搬	可燃ごみ	焼却（熱回収）	10, 191. 18
	不燃物	原料として再利用	472. 98
	ダンボール・古紙類	原料として再利用	204. 33
	資源プラ	原料として再利用	444. 08
	缶・ビン	原料として再利用	589. 35
収集運搬量合計			11, 901. 92

処理先フロー

産業廃棄物 処理フロー

回収お伺い～収集運搬

自社中間処理施設にて選別（中間処理）

金属くず

再生品
製鉄原料

廃プラスチック類

中間処理破碎後
再生及び最終処分

石膏ボード類

混合廃棄物

破碎・
中間処理

ガラスくず及び陶磁器くず
水銀使用製品産業廃棄物

瓦礫類・
コンクリートがら

最終処分場

木くず

中間処理破碎後

繊維くず

固形燃料化

缶

弊社 プレス機にて
圧縮

売却

製品原料

製鉄原料として製品出荷

ビン

弊社
磁選別機にて選別

最終処分場・原料化

ペットボトル

弊社 圧縮梱包機にて
圧縮・梱包

売却

製品原料

製品原料として出荷

廃プラスチック類
（容器包装他）

弊社 圧縮梱包機にて
圧縮・梱包

売却

製品原料

製品原料として出荷



廃棄物の種類ごとに適正処理～リサイクルに努めております



リサイクル処理の流れ

産業廃棄物処分業許可

中間処理（選別、圧縮、破碎、圧縮・梱包）



収集運搬



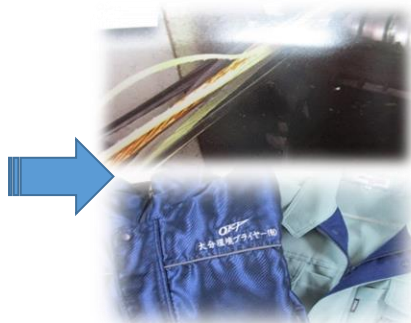
自社にて選別処理



中間処理（圧縮、破碎、圧縮・梱包）



製品原料として出荷

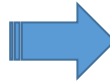


樹脂原材料として加工
非鉄・金属・プラスチック
繊維原料としてリサイクル

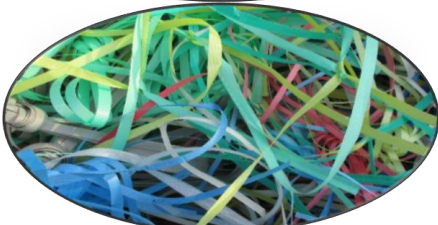
リサイクル処理物（廃棄物の一例）



缶・びん・ペットボトル、鉄、アルミ、PE、PP

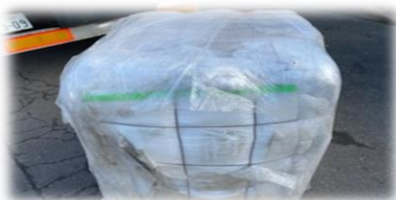


圧縮、破碎、圧縮・梱包



廃プラビニール類、PPバンド、フレキシブルチューブ、ABS板などのエンジニアリングプラ

破碎品



圧縮・梱包品



樹脂原料として製品化リサイクル

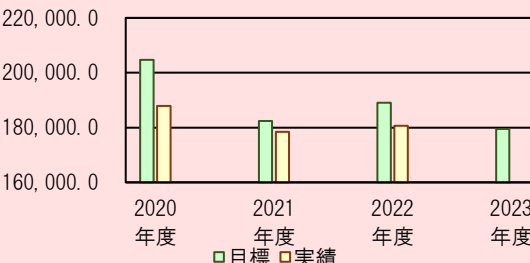


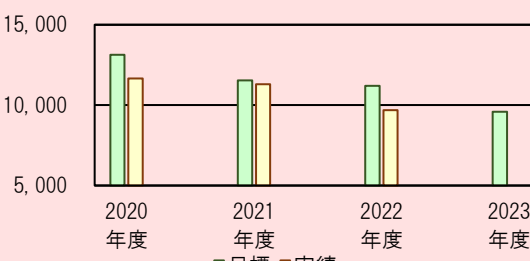
本年度の主要な環境経営計画内容と次年度の環境経営計画

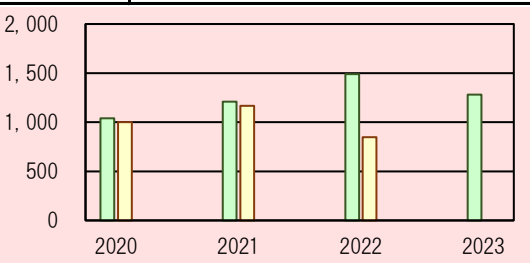
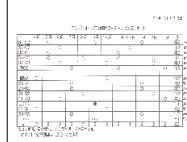
	項 目	該当事業所		
		賀来事業所	元町事業所	津守事業所
1.	二酸化炭素排出量の削減			
	①電気使用量の削減			
	・未使用区域の電気消灯の徹底で従業員の意識向上 	○	○	○
	・電気器具、換気扇等の不使用時停止	○	○	○
	・室内温度状況に見合った冷暖房器具の使用	○	○	○
	②燃料使用量の削減			
	・社員へのエコドライブの啓発活動 定期 	○	○	○
	・配車の検討、ルート収集検討 必要時	○	○	○
	・車両の燃料使用量のチェックと、走行メーターチェック 毎月	○	○	○
	・燃料使用量削減目標管理表の管理	○	○	○
2.	廃棄物の分別徹底による再資源化率の向上			
	・リサイクル率の把握・毎月の処理状況をチェック 毎月	○		
	・収集ルート時の分別回収の取組・お客様への提案 	○		
	・事務所より出される廃棄物の分別徹底 定期	○	○	○
	・裏紙の有効活用～裏紙の確保	○	○	○
	・場内片付け廃棄物の管理、社員への選別の啓発活動 定期	○	○	○
	・廃プラ・金属・雑品・コンテナの管理	○		
3.	水資源使用量の削減			
	・車両の洗車記録の確認、点検表の啓発 定期	○	○	○
	・洗車時間の短縮・水使用量削減の啓発活動 定期 	○	○	○
	・水漏れ防止点検 定期	○	○	○
	・雨水の有効活用と、雨水貯留タンクの管理 定期	○		
	・洗車排水槽定期清掃 定期	○		○
4.	グリーン購入			
	・エコマーク商品の購入 	○	○	○
	・詰替商品の購入	○	○	○
5.	環境教育の取組み 			
	・従業員への社内教育の実施 年2回(2・9月)	○		○
	・環境美化活動毎月スケジュール等段取り 毎月	○	○	○
	・近隣地域のごみ拾い活動 作業段取りと道具準備 毎月1回	○	○	○
	・環境美化草刈活動 作業段取りと道具準備 年3回(5・7・9月)	○	○	○
	・事業所場内の美化、5S活動 定期	○	○	○
	・事務所周りの清掃(トイレ含む)、環境美化の取組み	○		○
	・エコアクションタイムの実施(週1回)	○	○	○

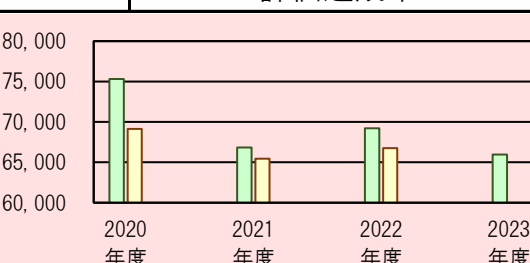
4. 環境経営目標と取組み結果

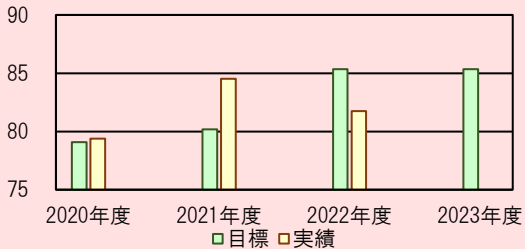
目標と結果

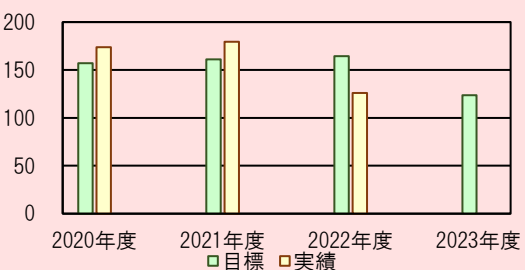
目標と取組み結果			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
CO2	目標	CO2排出量 (kg-CO2)	204,714.2	182,341.0	189,047.6	179,506
	実績		187,917.3	178,456.9	180,611.7	
	評価達成率		108.94% ◎	102.18% ◎	104.67% ◎	
			目標達成 前期同様CO2排出が多い、電気、ガソリン、軽油の3つで使用量が削減出来たので、目標をクリア出来た。年々作業状況が厳しくなっていく中で、各自が削減意識を持って取り組んだので結果に繋がったので安堵している、来期もPDCAをしっかりと行って取組み、Co2削減に貢献したい。			 エアコンの風を事務所全体に届く為に使用

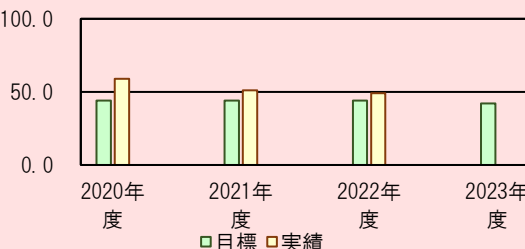
電力	目標	使用量 (kWh)	13,129.7	11,544.4	11,203.1	9,589.3
	実績		11,661.0	11,301.9	9,686.2	
	評価達成率		112.59% ◎	102.15% ◎	115.66% ◎	
			目標達成 3事業所ともに目標をクリア出来た。事務所内ではエアコンの使用を短時間、設定温度を上げる等の工夫で削減に取り組んだ。場内作業は常に作業機を使用する状況だったが、日々段取りを行う事で作業面を管理し、削減に繋がっていった。			 LEDに交換しました。

ガソリン	目標	使用量 (L)	1,040.0	1,210.0	1,490.0	1,280.0
	実績		1,000.0	1,166.2	846.4	
	評価達成率		104.00% ◎	103.75% ◎	176.04% ◎	
			目標達成 目標は達成出来た。委託業務回収コースの変更に伴い走行距離が減少。結果、大幅減に繋がった。ガソリン価格も高騰しているので、削減意識は常に持ちたい。			 オイル交換も定期的に業者をお願いしています。

軽油	目標	使用量 (L)	75,300.0	66,841.2	69,202.7	65,982.3
	実績		69,138.5	65,432.8	66,774.0	
	評価達成率		108.91% ◎	102.15% ◎	103.64% ◎	
			目標達成 委託業務が4月より回収コース変更で前期より大幅削減に繋がると期待していたが、賀来事業所が目標ギリギリでクリアだったので、大幅削減とまではいかなかった。ガソリン同様、軽油も価格高騰となっている昨今、各自PDCAをしっかりと行い更なる削減に取り組んでいく。			 日報で日々の運行状況をチェック!!

目標と取組み結果		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
再資源化	目標	79.1	80.2	85.4	85.4
	実績	79.4	84.5	81.8	
	評価達成率	100.40% ◎	105.40% ◎	95.78% ×	
 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 ■目標 ■実績		目標未達 目標をクリア出来なかった。適正分別をきちんと行い、リサイクル品目を多く処理出来たが、処理後にリサイクル率が大きく落ち込んだのが要因。適正分別を一人一人がしっかりと行い、リサイクル率を上げていきたい。 			 適正分別でリサイクル品を溜めてます

目標と取組み結果		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
水資源	目標	157.2	161.1	164.6	123.8
	実績	173.7	179.6	126.1	
	評価達成率	90.51% ×	89.70% ×	130.51% ◎	
 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 ■目標 ■実績		目標達成 元町事業所の使用回数の少なかったトイレ、洗面所を撤去した事が、年間での大幅削減に繋がった。他の取組みは、夏場に熱中症対策として、冷風扇、ミスト扇風機をフルに活用する為、使用量増となるので、洗濯の回数を約2日に1回にまとめ、削減に繋がった。来季も同様の取組みで節水意識を持って削減に努めたい。 			 タオルも事業所毎で用意し、衛生面も注意しています。

目標と取組み結果		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
グリーン購入	目標	44.0	44.0	44.0	42
	実績	59.0	51.0	49.0	
	評価達成率	134.09% ◎	115.91% ◎	111.36% ◎	
 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 ■目標 ■実績		目標達成 今季も、業務用の大容量を優先し購入。詰め替え用も購入し、ボトル容器から購入を極力控え、資源の削減に努めた。又、エコマーク認定商品も購入対象とし、前期同様率先して購入していった。 			 毎月の購入品数をチェックしています

係数0.382 2021年度(調整後係数 九州電力)

二酸化炭素総排出量は180,996.28kg-CO2
(灯油、LPGを含む)

■ 環境活動の取組み事例集



当社も、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、環境の業に携わる企業として、持続可能なよりよい未来を築くことを目標に、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、少しでも改善の方向へ進められる取り組み・行動を事業活動の中で推進してまいります。

■ 廃棄物適正分別



カゴ、オケを当社独自のルールで配置して適正分別を行っています。

■ 廃棄物のリサイクル



1回の回収でペットボトルが2〜3袋F/Bに溜まります。



リサイクル品目を増やす事で廃プラ問題に貢献します。(ペット等圧縮)

■ 環境負荷の削減への取組

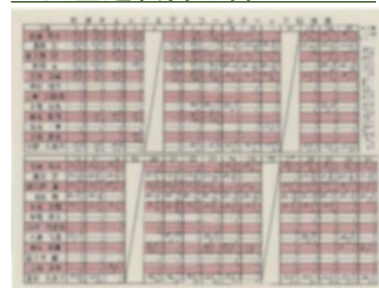


夏場のエアコン温度を下げすぎない様扇風機、サーキュレーターを活用



雨水タンクを新しく交換。以前よりも多く溜められるので洗浄等に有効活用しています。

■ 安全運転管理者チェック



出社したら体温、アルコールチェックを義務付けてます。

■ 環境教育



「安全運転講習」で学んだ内容を皆に教育中。



事故の怖さ、悲惨さを皆知っているので真剣に見ています。

■ 環境美化活動



社長も美化活動に参加して頂けたので活動範囲を広くしました。

■ 環境美化活動



ボランティア袋に入らないゴミが大量に落ちている時があります。

■ 草刈美化活動

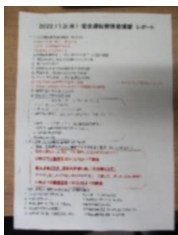


今年度も事務所前は社長にお願いし、綺麗にさせて頂きました。



事業所法面草刈中。危険が伴うので慎重に行います。

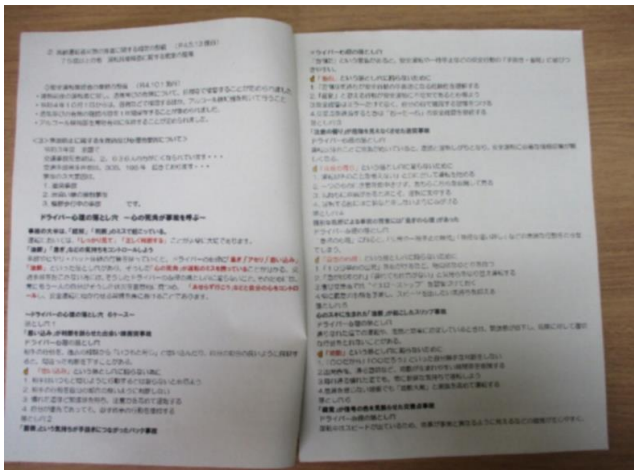
環境教育の様子 取組み結果



2022年11月に「安全運転管理者講習に参加しての内容を教育」と題し、講習内容を各事業所ごとで教育。

特に12月、1月は年間を通して、交通事故発生件数が一番多くなる月の為、事故防止啓発文書、事故映像で教育。結果、交通事故の重大さ

※①～④は賀来事業所で元町事業所のメンバーと合同での教育写真。⑤～⑥は津守事業所での教育写真



①安全運転、安全管理等の「安全」について十分に説明。



②交通安全等のDVDを借りて映像での教育



③安全運転管理者からの教育。皆真剣に教育を受けた。



④DVD映像での教育。事故の事例集を見て、事故の怖さを再認識出来た。



⑤津守事業所での教育。副安全運転管理者から教育を受けた。



⑥皆で意見を交換しながら、安全運転の意識を高めた。

5. 環境関連法規の遵守結果及び違反・訴訟等の有無

(評価)
○：法規制等に適合、
△：法規制等から逸脱の可能性
×：法規制等から逸脱している

H・・・法律　K・・・法律施行規則　R・・・法律施行令　分類記号の意味：適＝法規制の適用を受ける、努＝法規制はあるが努力義務					
設備、業務、取扱物質名	法規制等	適用条項等	主な内容	当社の対応	評価
浄化槽の使用 (30人槽)	浄化槽法	H6条 浄化槽の設置届出	設置又は構造の変更する者は知事に届ける	浄化槽の変更の際は指定業者に依頼し、業者をととして、市長に報告する	○
汚水の排水		H7条、11条 法定検査	指定検査機関の水質検査（1回/年）及び法定検査記録の保管（3年間）	(財)大分県環境管理協会に検査を依頼する	○ 4月済
浄化槽水処理剤の使用		H8条、規則2.5条、 H10条、保守点検	知事の登録を受けた者に委託	福喜工業㈱に点検と清掃を依頼する (3ヶ月に1回点検、年1回以上清掃)	○
		H9条、規則3.5条、H10条、清掃	市町村の許可を得た浄化槽清掃業者に委託 ・清掃記録の保管（5年間）	清掃記録の保管（5年間）	○ 11月済
【廃棄物の収集運搬】 【廃棄物の処理】	・廃棄物処理法 ・市環境基本条例 ・大分市廃棄物処理法 ・大分県廃棄物処理法	H7条　・一般廃棄物の収集・運搬業の許可	・一般廃棄物収集運搬業許可書	①許可証確認（1月/年1回） ・2年ごとの更新	○
		H14条　・産業廃棄物の収集・運搬業の許可	・産業廃棄物収集運搬業許可証	①県知事許可書確認（1月/年1回） ・5年ごとの更新	○
		H12条　・排出事業者との収集・運搬、処分の個別委託契約の締結	・委託契約の締結	③委託契約書の締結確認（4月/年1回）	○
		H12条-3　-2 ・管理票（マニフェスト）の交付	・運搬受託者は運搬を終了した時管理票を交付した者に写しを送付する	④記載内容・排出事業者への報告（1回/月）	○
		・所定事項を記述した帳簿の5年間保管		⑤保管確認（4月/年1回）	○
		・廃棄物の分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の適正処理の遵守		⑥適正処理の遵守状況確認（1回/月）	○
・事業所系一般廃棄物の発生 ・一般ごみの発生	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	H12条3-1 地方公共団体への協力	廃棄物の減量その他その適正な処理の確保等に関する地方公共団体の施策にへの協力	・条例に定められた処理施設への運搬	○
		H6条2 一般廃棄物処理の委託	運搬または処分は定められた業者に委託する		○
産業廃棄物の発生		H12条2　K8条1 産業廃棄物の保管	・産業廃棄物が、運搬、処分するまでの保管義務、保管基準（60×60cmの掲示板設置等）	・分別回収 ・表示板の設置	○
・廃プラ		H12条3, 4, 5R6条2 K8条2, 3, 4, 4-2	・産業廃棄物の運搬、収集、処理の委託基準に適合したそれぞれの業者との委託契約書の締結	・それぞれの業者との契約書 ・それぞれ業者の許可証の写し	○
・金属くず		・産業廃棄物処理の委託	・委託契約書に添付すべき書面（許可証等）	・有効期限の厳守	○
・ガラスくずおよび陶磁器くず		・委託の基準	・委託契約に含まれるべき事項	・運搬、収集業者　自社 ・処分業者　自社にて中間処理	○
		R6条2-4　　K8条4-3 委託契約書の保存期間	契約書は契約終了の日から5年間保存する	保存期間順守	○
		R6条2-5　　K8条4-4 承諾に係る書面の写しの保存期間	書面の写しは承諾日から5年間保管する	保存期間順守	○
		H12条3-1, 5, 7, 8 K8条21, 26, 28, 29 産業廃棄物管理票（マニフェスト）	・マニフェストの交付、保存、送付内容確認、不適切な状況に対する処置 ・管理票交付日からB2票及びD票は90日以内、E票は180日以内に受領・期限内に受領出来なかったら知事に報告する	・マニフェストの交付・保管 ・照合確認欄への受取月日記載	○
		K8条27 (管理票交付者の報告書)	・事業場ごとに、毎年6月30日までに、その年の3月31日以前の1年間において交付した管理票の交付等の状況を当該事業場の所在地を管轄する都道府県知事に提出する。	報告書（様式3号）の作成、提出	○
家電製品の廃棄（テレビ・冷蔵庫の廃棄）	特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律（家電リサイクル法）	H6条　関係者の責務 R-1(対象品目機種)	・廃棄物として排出する場合は、運搬する者等に適切に引渡し、料金の支払い ・冷蔵庫、ユニット型エアコン、洗濯機、テレビ	・長期使用 ・廃棄の際、指定業者にリサイクル料金を支払う	○
水銀使用製品産業廃棄物の廃棄	水銀による環境の汚染の防止に関する法律（廃棄物処理法）	H2条4項	水銀使用製品の収集運搬、処分を行う場合には、産業廃棄物処理業の事業範囲の変更などの手続きが必要。（許可更新時に手続き済み）	収集運搬基準、積み替え保管基準、処理基準に準じた対応。	○

「環境関連法規への違反、訴訟等はありません。尚、関係当局の違反・訴訟等の指摘は過去3年間ありません」

6. 代表者による見直しの評価と指示

2022年度が終わりました。エコアクション21も認証取得から10年以上が経ちましたが、燃料使用量の削減をはじめとする基本的な環境負荷の削減の取り組みも定着し、日々の事業活動の中に根づいております。現状の問題として、深刻な人手不足の状況が続いており、業務多忙のなかでなかなか計画した活動が出来ないという状況、又、物価高騰の影響等でこの業において非常に厳しい状況であると実感をしており、業務体制の構築、社員教育、お客様・地域社会に貢献すべく業務の内容改善等一つひとつ、改善実施をし、バランスを整えエコアクション21の取り組みに関しても、コンスタントに活動が行えるように努力をしていきたい。また、SDGs宣言に掲げた内容をよく理解したうえで、人と環境にやさしい経営環境を社員の理解・協力のもと、全社員でプラスの方向へ進んでいきましょう。



SDGs宣言

2022年4月1日
大分環境プライヤー株式会社
代表取締役 後藤 雅彦

SDGs達成に向けての当社の取り組み

弊社は、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、環境の業に携わる企業として、持続可能なよりよい未来を築くことを目標に、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、少しでも改善の方向へ進められる取り組み・行動を事業活動の中で推進してまいります。

1.廃棄物の適正処理とリサイクル

- ・廃棄物の適正な分別と、適正処理
- ・廃棄物をできるかぎりリサイクル処理をし、資源へ

2.環境負荷の削減への取り組み

- ・一部負荷の大きい燃料使用量削減への取り組み
- ・電気使用量の削減の取り組み
- ・水使用量削減の取り組み
- ・環境にやさしいグリーン購入の推進
- ・エコ活動 廃棄物を出さない取り組み

3.地域社会貢献活動

- ・近隣地域の美化活動（掃除・ごみ拾い・不法投棄を除去）
- ・草刈り美化活動
- ・地域の力、助けとなる活動・サポート

4.「会社」の成長と「人」の成長

- ・安全衛生の取り組み
- ・業務に必要な教育の実施
- ・働きやすい職場環境づくりの推進
- ・お客様、社会に貢献できる、お役に立てられる、喜ばれるお仕事を

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは
SDGs：持続可能な開発目標は、「誰一人残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界の共通の目標です。2015年の国連サミットにおいてすべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



「この先の未来のために!!」
これからも環境に配慮した企業でありたいと思い、社員全員で取り組んでいます。